



# 令和6年度東京ヘリポート 不法侵入対応及びハイジャック防止訓練



令和6年12月12日、東京ヘリポート不法侵入対応及びハイジャック防止訓練を実施しました。訓練は二部制で、第一部では、関係機関への通報等の初動対応を確認しました。第二部では、警備員の出動や警察による犯人確保までの流れを確認しました。また、訓練終了後には、警視庁東京湾岸警察署員に護身術の講習を行っていただきました。

## 訓練概要

日時 第一部通報訓練 令和6年12月12日 13時30分から13時40分まで  
第二部総合訓練 令和6年12月12日 15時00分から16時00分まで  
場所 東京都東京ヘリポート  
主催 東京都東京港管理事務所  
協力 警視庁東京湾岸警察署、新日本ヘリコプター  
想定 民家に強盗した後の犯人が、遊覧客に紛れ込み待合室から制限区域内に侵入。刃物を取り出し、逃走用のヘリを用意するよう駐機していた機体の乗組員を脅す。駆けつけた警備員と対峙。その後、警察が到着し犯人を確保

## 通報訓練



- 管制塔から事件発生 of 報告を受けて、滑走路を閉鎖
- 中央拡声装置でヘリポート内に不法侵入事案発生を周知
- 関係機関等へ事件発生 of 通報
- 警備員へ出動指示

## 総合訓練

- 刃物を持った不審者が乗組員を脅す
- 警備員は刺叉を持って出動
- 警備員は犯人の要求を聞き、警察が到着するまでの時間を稼ぐ
- 警察が到着
- 犯人を確保、連行



## 護身術講習

訓練後の護身術講習では、手首や胸元を掴まれた際に使える簡単な護身術を実演していただきました。訓練の見学者も二人一組になって、護身術の練習を行いました。





# 令和6年度東京ヘリポート 不法侵入対応及びハイジャック防止訓練



## 講評

警視庁東京湾岸警察署の山崎警視と東京都東京港管理事務所の菊田所長から講評をいただきました。



山崎警視

もし何かあれば、今日の訓練を思い出して、第一に警察及び警備に通報していただきたい。

護身術講習は、こういった機会は少ないと思うので、得たものを持ち帰って、いざというときに対応できるよう日々訓練してほしい。

東京湾岸警察署は、皆様方と連携していきたいと考えているので、何かあれば遠慮なくご相談してください。

本日の訓練を通じて、緊急時の役割や必要な対応を改めて確認することができたと思う。

また、緊急事態には、警察や消防など関係機関への迅速な通報が重要であると実感できたと思う。

本日の訓練で得た体験を各参加者が持ち帰り、社内で共有していただきたい。

危機管理への対応をより良い内容にしていきたいと考えているので、引き続き、皆様のご協力を賜りたい。

ご参加いただいた方、東京湾岸警察署に感謝申し上げます。



菊田所長

(担当) 東京港管理事務所港務課ヘリポート担当

03-3522-2681